## ■Windows11 復元ポイント作成手順

※下記内容は一般的環境での処理です。お客様の環境にて多少異なります。

1. 「スタート」をクリックし、表示されたメニューから「設定」をクリックします。

	1 <sup>8</sup> dr - albaha	0.44 ±				
Q P/J, gg	ミ、トキュメント	の検索				
ピン留め済み					すべて >	
0	w	×	•	6	<u>o</u>	
Edge	Word	Excel	PowerPoint	Microsoft 365 (Office)	Outlook (new)	
<b>i</b>		0	o <sup>301</sup>	a	P	
Microsoft Store	741	LAVIEアプリナビ	LAVIEかんたん設定	Amazon	Corel PaintShop Pro 2023 SE	
<b>Ö</b>	$\overline{\mathbf{N}}$	۵	8	6	<b>~</b>	
設定	Xbox	Solitaire & Casual Games	Spotify	Microsoft Clipchamp	To Do	
おすすめ						
最近使ったファイ	ルと新しいアプリ	を表示するには、これ	らを設定でオンにします	<u>スタート設定を起</u>	動します。	
	- <b>£</b> ß				Ċ	
📕 Q 🕴	検索		) 📄 🍫	<b>i</b> 💽	🗉 💁	

2. 「設定」が表示されます。

画面左側から「システム」をクリックし、表示された一覧から「バージョン情報」をクリックします。



## 3. 「バージョン情報」が表示されます。

「関連リンク」欄から「システムの保護」をクリックします。

← 設定	- 0 ×
久 秋葉-郎 @outlook.jp	システム > <b>バージョン情報</b>
設定の検索 Q	関連リンク ドメインまたはワークグループ システムの保護 システムの詳細設定
2774	
8 Bluetooth とデバイス	
▼ ネットワークとインターネット	エデイション Windows 11 Home
🥖 個人用設定	パージョン 24H2
דער איז	インストール日
アカウント	2024/10/21 OS ビルド
⑤ 時刻と言語	
🚥 17-L	19209192
🏋 アクセシビリティ	Microsoft サービス規約 Microsoft ソフトウェアライセンス条項
プライバシーとセキュリティ	
Ø Windows Update	⑦ サポート コピー ∧

4. 「システムのプロパティ」が表示されます。

「システムの保護」タブをクリックし、「ローカルディスク(C:) (システム)」が「有効」かどうかを確認します。

システムのプロパティ		×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護	度 リモート	
システムの保護を使用して、システムに加えたオ	下要な変更を元に戻します。	
システムの復元 コンピューターを以前の復元ポイントの状態に戻すこと により、システムに加えられた変更を元に戻します。	システムの復元(5)	
秋田できるビュノブ (	皇御	
- D-111 - 7(7)(D)	本 4克 善 - 勃	
ローカルディスク(C)(システム) #23Volume(	熱	
復元の設定を構成し、ディスク領域を管理して、復元 ントを削除します。	ポイ 構成( <u>O</u> )	
システムの保護が有効になっているドライブの復元ポイ を今すぐ作成します。	ント 作成( <u>G</u>	
ОК	キャンセル 適用(A)	)

- 。「有効」の場合 → <u>手順 5.</u>に進みます。
- 。「無効」の場合 → 「ローカルディスク(C:) (システム)」をクリックして選択し、
   「構成」ボタンをクリックします。

5. 「システム保護対象 ローカルディスク(C:)」と表示されるので、「システムの保護を有効にする」をクリックして選択 し、「OK」ボタンをクリックします。

「ローカルディスク(C:) (システム)」が「有効」になったことを確認してください。

늘 システム保護対象 ローカル ディスク (C) 🛛 🗙
設定の復元
システムの保護を有効にすると、コンビューターを前回の状態に戻して、システムに加えた不 要な変更を元に戻すことができます。
● システムの保護を有効にする
○ システムの保護を無効にする
ディスク領域の使用量
システムの保護で最大限のディスク領域を使用するように調整できます。ディスク領域がなくな ると、古い復元ポイントが削除され、新しい復元ポイントのための領域が確保されます。
現在の使用量: 378.25 MB
最大使用量( <u>M</u> ): ■
2% (10.00 GB)
このドライブのすべての復元ポイントを削除します。 削除(D)
OK( <u>O)</u> キャンセル( <u>C</u> ) 適用( <u>A</u> )

6. 「システムのプロパティ」が表示に戻ります。

「システムの保護」タブをクリックし、「保護設定」欄から「作成」をクリックします。

システムのプロパティ	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
システムの保護を使用して、システムに加えた不要な変更を元に戻しま す。	
システムの復元	
コンピューターを以前の復元ポイントの状態に戻す ことにより、システムに加えられた変更を元に戻しま す。	
保護設定	
利用できるドライブ 保護	
🗳 Windows (C:) (システム) 有効	
➡ ポリュ−ム (D:) 無効	
復元の設定を構成し、ディスク領域を管理して、復元構成(Q) ポイントを削除します。 システムの保護が有効になっているドライブの復元ポイン (た成(Q)	
トを今すぐ作成します。	
OK キャンセル 適用(A)	

7.「復元ポイントの作成」という画面が表示されます。
 任意の説明を入力して、「作成」をクリックします。
 ここでは例として、「手動で作成した復元ポイント」と入力します。

システムの保護	×
復元ポイントの作成	
復元ポイントの識別に役立つ説明を入力してください されます。	い。現在の日時の情報は自動的に追加
手動で作成した復元ポイント	
	作成(C) キャンセル

8. 「復元ポイントを作成しています...」というメッセージが表示されるので、しばらく待ちます。

システムの保護	
復元ポイントを作成しています	

9. 「復元ポイントは正常に作成されました。」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

システム	の保護	
i	復元ポイントは正常に作成されました。	
		閉じる(O)

10.「システムのプロパティ」画面に戻りましたら、「OK」をクリックして画面を閉じます。

システムのプロパティ	×
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート	
システムの保護を使用して、システムに加えた不要な変更を元に戻しま す。	
システムの復元	-
コンピューターを以前の復元ポイントの状態に戻す ことにより、システムに加えられた変更を元に戻しま す。	
保護設定	-
利用できるドライブ保護	1
➡Windows (C:) (システム) 有効	
➡ ポリューム (D:) 無効	
復元の設定を構成し、ディスク領域を管理して、復元 ポイントを削除します。	]
システムの保護が有効になっているドライブの復元ポイン トを今すぐ作成します。	
OK キャンセル 適用	(A)

以上で操作完了です。

※復元ポイントはシステムファイルや設定を復旧するための機能です。個人データ(例:写真や文書ファイル)の復元に は対応していません。重要なデータは別途バックアップを取ることをお勧めします。

※定期的に復元ポイントを作成していただき万一に備えていただけるとご安心して運用いただけます。

-----ご質問等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。 お問い合わせ先:日本システム・クリエート(株)電話052-805-0061